

【脱原発とくらし見直し委員会より】

地域やサークルで「小さな上映会」しませんか！

脱原発くらし見直し委員会ではこれまで生協にあるDVDなどの試写会や、「福島・六ヶ所未来への伝言」は監督さんもお呼びして上映会&講演会などを開催してきました。

原発事故から3年半が経過し、原発や被ばくに対する社会の関心が薄くなっている中で、粘り強く暮らしや社会を見つめ直す機会が必要です。

9月の委員会で、「大きな上映会をやるよりも、地域や、サークルの友達など、身近なところで数

人でも小さな上映会をやって、今わたしたちの置かれた状況などをみんなで知ってゆこう」との提案がありました。

生協にあるDVDライブラリーのリストを作ってみました。ご希望をお寄せください。(まず個人で見たいのち、仲間や地域に呼びかけて頂いても結構です)。下記申込書にて(希望が重なる場合は順番に貸し出しいたします)。

脱原発とくらし見直し委員会

原 発 ・ 被 ば く	1	祝の島 (ほうりのしま) 1000年先にいのちはつづく	2010年	105分	瀬戸内あや監督
	2	福島 六ヶ所未来への伝言	2012年	105分	島田恵監督、加藤登紀子音楽 (一人500円上映料)
	3	内部被ばくを生き抜く	2012年	80分	鎌仲ひとみ監督 4人の医師が語る経験・広島・チェルノブイリ-イラクー福島
	4	ミツバチの羽音と地球の回転	2010年	116分	鎌仲ひとみ監督 祝島とスウェーデンでエネルギーの自立に取り組む人々の物語
	5	六ヶ所村ラブソニー	2008年	119分	鎌仲ひとみ監督 再処理工場の周辺で暮らす六ヶ所村の人々の葛藤
	6	ヒバクシャ HIBAKUSHA 世界の終わりに	2003年	116分	鎌仲ひとみ監督 国境のない核汚染イラク・アメリカ・日本
	7	チェルノブイリハート	2003年	61分	放射線の影響で心臓に重度の障害を持った子供たちのこと
	8	100,000年後の安全	2009年	79分	M. モドセン監督 フィンランド地層処分の実現
	9	放射性廃棄物 ~終わらない悪夢~	2009年	92分	世界中で漏れ出ている放射能。核燃料サイクルの恐るべき実態。
	10	フタバから遠く離れて 避難所からみた原発と日本社会	2012年	96分	船橋淳監督 故郷から遠く離れた避難所で暮らす福島県双葉町民の日常
	11	サクリファイス 犠牲者	2003年	25分	チェルノブイリ原発事故処理作業員の知られざる真実
	12	真実はどこに? HHOとIAEA 放射能汚染を巡って	2004年	51分	チェルノブイリの被害の実態がいかに隠蔽されたか
	13	知らされなかった核汚染 NHK・BSドキュメンタリー	2006年	50分	岩崎充利撮影編集 被ばく60年・マーシャル諸島
	14	はだしのゲン誕生物語 NHK・BSドキュメンタリー	1995年	60分	岩崎充利撮影編集 はだしのゲン作者中沢啓治インタビュー
農 業	15	ミツバチからのメッセージ	2010年	57分	岩崎充利構成撮影 ネオニコチノイド農薬とミツバチの生態系、子どもたちの脳
	16	赤とんぼがない秋	2012年	61分	岩崎充利演出撮影編集 ネオニコチノイド農薬と小動物たち
食	17	フードインク	2011年	94分	食品の安全や業界の裏側に鋭く切り込んだフードドキュメンタリー
	18	モンサントの不自然な食べもの	2012年	108分	遺伝子組み換え食品をめぐる食といのちのドキュメンタリー
	19	未来の食卓	2009年	108分	学校給食と高齢者の給食をオーガニックにする試みに挑戦した南フランス・バルジャック村のドキュメンタリー
基 地	20	誰も知らない基地のこと	2012年	74分	日本人が知らない米軍基地問題の常識

キリトリ

【小さな上映会希望申込】

コース名 _____ 班名 _____ お名前 _____

希望DVD番号(複数でもOKです) _____

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

10/18 坂東市にて
くらし方を見直す
「小さな上映会&交流会」



春の地区懇談会で原発と私たち自身の日常のくらしのお話が出て、秋に映画会をやりましょうと。

10/18 岩井中央公民館創作室で、「祝の島」(ほうりのしま) 小さな映画会と懇談会を開催しました。

山口県上関市に原発誘致の話がもちあがった1982年以来32年にわたって原発に反対し祖先から受け継いできた島のくらしを守りつづけている島民のみなさんの日常風景を追った映画。そこから私たちが学ぶものは・・・。



【10-11月の予定】 ※10/30現在の予定です

●地域活動・催し●	●基幹運営・対外関係●
○共同農場コットンボール収穫 11/1 (土) 10-12時 (龍ヶ崎農場) 11/8 (土) 10-12時 (つくば農場) 11/22 (土) 10-12時 (つくば農場)	○組合員・生産者・職員合同商品検討会 11/8 (土) 10:00~14:30 旬の野菜をおいしく食べる(やさとの仲間) JA やさと夢ファーム 11/14 (金) 10-12時 キムチ(趙さんの味) 高野公民館(守谷市高野935) 11/28 (水) ハチミツの使い方(講習会) 2回目 取手市長山公民館
※「綿線り交流会」について お問い合わせを頂いていますが、11月~12月にかけて予定しています。いましばらくお待ちください。	

【10/18 坂東市「祝の島」小さな上映会 & 交流会 「海と山さえあれば生きていける。だからわたしの代で海は売れん」



海の風景、農業、動物たちの生きる姿から島の全容が見える、先祖から受け継いできた祀りと、茶飲み仲間の会話や光景、助け合う暮らしの様、静かだが力強い暮らしが映し出される。その日の漁獲は竜宮の乙姫さんが決める。よう来てくれたな、ありがとよ一本釣りの漁師は一匹ずつにご挨拶を吐く。

豊かに生きるかどうかはどこに視線を置かかた。身の丈以上の生活をしているように思う。

「原発で少し働いただけだが恐ろしいところだ。白血球が減った。」と古者は静かに語る。

苦しくとも堪える力を私たちは持っている。物の有り難さを思う。我々には宝の海じゃ。親が頑張っって遺してくれたこの田、この畑。今

度は自分が子孫のために遺してやらねばならん。

「人間の生きる」を守るは金でない。自然だ。町長が上関へ来て下さいと言ったことは残念至極。1982年原計画浮上の原発建設に9割が反対した。原発は人間を変えていった。人間同士を戦わせていった。人間の心をズタズタにした。この島の自然が私を育ててくれた。

絶対に原発は建てません。涙の怒りは恒例の地上でのデモは28年で1,050回となった。海上でも「船をどけないと違反行為です。」「あなたの方の奥さんが私たちのようにここにこうして船に乗って一日中いたらどうなのよ？」怒りで震える声が海に舞う。



祝島から上関原発予定地の長島・田浦を望む。わずか4km。

【交流会から】

- ・映画を見て、こうしたことをこれっぽちも知らずにのうと生きていた自分を思う。
- ・もしもの時は海外避難と軽く考えていたが、ちょっと間違っていたかな。
- ・諦めちゃダメ。「反対は楽しくやるの」の明るいたたかさに、自然の豊かさに比例した故の人間の強さ、心の強さを見た。
- ・小学校2年生のみうさんは言いました、あんまりよくわからなかったけれど、ひじきはああしてとるんだと知った。
- ・いろんな問題はどこをとってもどこかでつながっている。基本は同じ。
- ・日本には「足るを知る」の諺があるがその通り。
- ・知人がカヤックで阻止行動をしていることを聞いて映画を見に来た。
- ・子どもはじっとしていないと思って家でパパと留守番させたけど残念だった。
- ・友人が新婚旅行にお祝いの島とあるからと全く何も知らずに選んでしまったのがここだったという。
- ・体全体をしっかり使って生きているから長寿でも現役。強さが違う。
- ・この辺りの風向きは北東から、東海第2にもしも万が一の際は物理的に逃げられない状況等、東海第2差止訴訟の原告になっている青木さんから裁判の現況の説明。

・アズマカナコ著「節電母さん」から電気代500円の内容紹介。明るいうちに風呂まで終える。部屋全部に電球はつけていない。数を減らしたり、その都度はめ込んでとか。冷蔵庫を使用すると千円超えになるとのこと。蓄冷剤を上手く利用している。

・清水農園の枝豆は生子の地物、これからはこの種を遺していくのが私の仕事かな。B級卵は、年長の鶏の卵、通常は店頭には並ばない。形状も不揃いで殻も固かったり柔らかかったり。黄身はトウモロコシを与えないので白いですよ、食べるものが色づけをします、の説明に、ええっ！そんなことも知らなかった自分に驚くばかりと驚いた。場に出るといようなこと見えてきます。

・20%節電実現一契約A変更、トイレ便座温めストップ、鍋炊飯へ、照明の明暗を使い分け等

・子どもが巣立ってから同Aだったから私も変更しました。
・東海第2の逃げる道なしについては自分の身をどこにどう置くかの覚悟が必要。

生協も全体で取り組もうと意気込んだ。職員組合員ともに相当の無理と時間をかけて学習や説明をしてきた経緯がある。現況、原発問題忘却鎮静化への感あり。何とか初心に戻りたい。(報告/理事長 村井)



【参加者の感想から】

●私たちが守る

準備から大変お世話になりました。常総坂東地区では今回が一番多くの人に参加したように思います。私は3.11前に一度見ています。淡々とした記録映画で海上での祭り、棚田の石垣を30年かけて家族の力だけで積んだことなど、ただただ感動していました。今回は島の人たちの言葉、日常会話の一つ一つが心に響いてきました。

- ・米さえあれば生きて行ける。
- ・皆が守ってくれたから美しい山と海がある。

私達も守る。(坂東市 清水)

●足元から応援も

原発は一つも許されない。節電はもっともっと我々にはできる！祝島の人々の自然と人が密着し調和し、共に生きている姿を映像で見させていただきました。素朴な暮らし食べ物はどこからどのように来ているのか直結して分かっている暮らし……。我々は本当に贅沢をしすぎています。あまりにも使い捨てにしすぎです。いろんなことを反省しました。そして祝島の原発反対運動がずっと建設を阻止して行ってほしい。この海を日本全体で守れないものかと心から思いました。さて今一人一人にできる事は何でしょう。毎日に暮らしの

見直し。祝島に駆けつけて一緒に反対運動ができなくても我々は足元から応援もできる運動もできると思えました。とりとめもない文章で申し訳ありません。気持ちが先行し文がまとまりませんでした。上映会もっと多くの人たちに来ていただきたかったです。ありがとうございました。(坂東市 名超)

●祝島で頑張る人たちと

18日はすばらしい映画を観られましたこと本当に感謝申し上げます。海を守る、島を守る、こんな当たり前のことを32年間もあれ程の闘いをもってしなくてはならなかった祝島の方々の姿に大変ショックを受け、どんな思いで日々を生きていらっしやるかと考えたら、何て自分は自分たちのことしか考えていなかったのだろうと……。自分がこれからどのように生きていったらよいかというような深いところから見つめ直さなければいけないと思えました。

平凡な微力な一般人だから自分には何もできないと思わずに脱原発につながる自分にできる節電をできる範囲でやっいてこうと気持ちを新たにしました。(でもあまり気負わずに……。)早速このお手紙も窓の近くに机を移動して書いています！！(折りたたみできる小さな机です)

消費税増税対策と、原発を推進するような電力会社になるべくお金を払いたくないなあという気持ちから始めた我が家の節電ですが、

- 1、ウォシュレット 暖房便座をやめて、のせるだけの便座カバーにした。
- 2、お風呂の電気 2つから1つに 電球を間引く(お風呂がそんなに明るくなくても問題ないです)
- 3、食卓の電気(シャンデリア風のもの) 6つから4つに電球を間引く

主にこれだけで 6月 4,386円(昨年より-16%)、7月 6,287円(昨年より-12%)、8月 6,470円(昨年より-6%)、9月 4,724円(昨年より-19%) その中で7月、8月はエアコン28度で丸1日朝から晩まで使用(40アンペア・3人家族)。思った以上に節電できていました。これからは理事長から教えて頂いた「暗いところから明るいところへ移動して過ごす」これとあと手仕事の見直し(電気掃除機からほうき)等も実行したいです。すぐに実行できることですね！！

「電気代500円」の本を参考にしながら無理せず楽しく節電していきたいです。やはり本を読んで感じたのは電気炊飯器(電気ポット類も同じようですね)が12Aとたくさん電気を使いさらに保温等もしておいて考えると1年中使うものなので大きいと感じました。鍋炊

飯、保温なしその度レンジか蒸し器で温めるのを広めたいと個人的には思っています。速いし美味しい鍋は炊飯器と違って何万もしません。私は冷蔵庫やレンジ洗濯機を手離すつもりはないので、電気代を減らすといっても限界はあると思いますが、現実的に忙しい家庭でもできるような節電エコな暮らしを生協の皆さんと考え知恵を出し合っって小さなアクションを皆でおこせたらいいなあと思うています。何年前かに「ペットボトルの飲み物なるべく買わずに水筒を持ち歩こう」という提案も朝日新聞で(投稿欄で)掲載されました。ペットボトルを作ることを(どれだけの電気や燃料が使われているか)考えればなるべく買わずに家でいれたおいしいお茶を持って出かける生活も広めたいです。(スーパー等でペットボトルの麦茶等、重たそうにたくさん買っている特に若いお母さんを観ると、なんで家で作らないんだろうと不思議に思います。)1日1本家族でペットボトルを各自買っていたら1ヶ月では相当な金額になりますよ！

まとまらなくなってしまうかもしれませんが……。祝島で頑張る方々の姿と3.11以降原発に反対していろいろと頑張っている常総生協の姿の根底にとっても大切な共通するものを感じました。貴重な時間を与えて頂きありがとうございました。(坂東市 内田)